



日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.403 2025.1.1

れんごう

YAMANASHI

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

蛇のように鋭い洞察力で課題を乗り越え次のステージへ

新年あけましておめでとうございます。
昨年も連合山梨の運動に對しまして深いご理解と暖かいご支援をいただきま
したことに心より感謝・御礼申し上げます。

今年も皆さま方のご期待に応えられるよう、一層の努力をさせていただきます。

新型コロナウイルスパンデミックから6度目の新年を迎えました。

世の中は、ほぼコロナ禍前の状況となり、社会の関心や警戒心が薄れているよ
うに感じています。緩んでしまっている意識を引き締める必要があります。

また、日本は少子高齢化を背景に労働人口の減少は喫緊の課題です。超高齢化社会に對
していくためにも、年収の壁の問題を始めとする所得税・社会保険なども含めた、税と社会
保障の一体改革が必要であると考えています。

春闘では、2023春闘で30年ぶりの高水準を実現し、2024春闘で33年振りの5%台
(全国平均)の賃上げが実現しました。しかし、生活が向上したと実感している人は少数にとど
まり、私たちの暮らしは依然として厳しさを増している状況が続いています。

人口減少、不安定雇用と格差・貧困の拡大、疲弊する地方経済などの多くの課題に直面し
ていますが、すべての課題に積極的に向き合い、解決の糸口を見出しながら連合山梨の運動
を前進させていきます。

今年には巳年です。蛇は、昔から「成長」や「知恵」、「変化」を表すとされています。蛇が
脱皮して新しくなるように、「課題を乗り越えて次のステージへ進む」、日本社会も大きな変
化や再生する出来事が多く起こって欲しいと願っています。

連合山梨は「蛇のように鋭い洞察力」を持って、すべての働く仲間の先頭に立ち「労働組合
は社会になくてはならないインフラ」をアピールしながら運動を展開
してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



連合山梨会長
窪田 清



〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp

発行人 宮下 竜三



RENGO_YAMANASHI

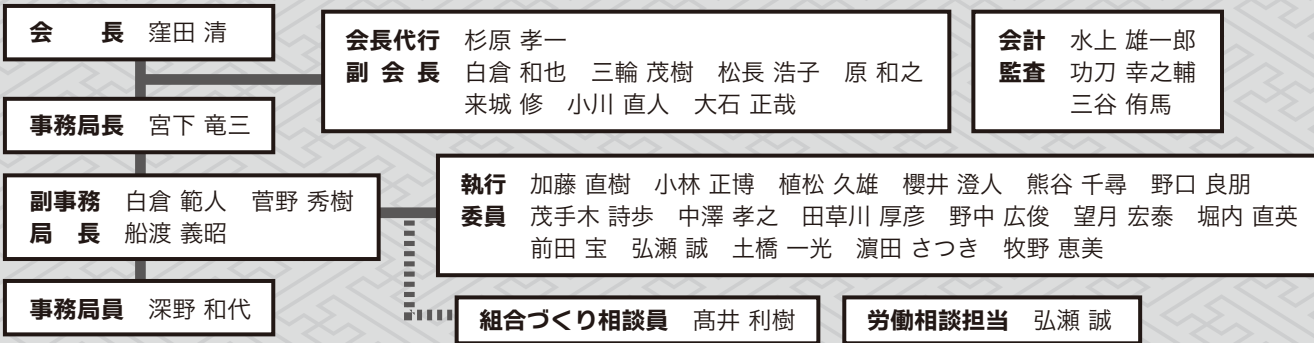


Facebook



Homepage

2025年度 連合山梨 執行機関組織構成図



部 門	委員会・センター・連絡会の構成
組 織 対 策	組織対策委員会 ◎原 和之 ○来城 修 ◇白倉 範人 加藤 直樹 櫻井 澄人 植松 久雄 茂手木 詩歩 野中 広俊 青年委員会 ◎諏訪 祐一 ○長田 章洋 ◇小澤 脩人 内田 晃太郎 米倉 颯太 大森 奨平 原 翼 土屋 拓巳 藤井 成貴 杉田 玲弥 小林 達哉 尾高 孝文 ◆船渡 義昭
組 織 拡 大	組織拡大委員会 ◎松長 浩子 ◇白倉 範人 加藤 直樹 小林 正博 櫻井 澄人 熊谷 千尋 茂手木 詩歩 中澤 孝之 田草川 厚彦 フェアワーク 土橋 一光 前田 宝 弘瀬 誠 推進センター ◎松長 浩子 ○◇宮下 竜三 ◆高井 利樹
政 策 制 度	政策制度委員会 ◎小川 直人 ○白倉 和也 ◇菅野 秀樹 ◆船渡 義昭 小林 正博 野口 良朋 望月 宏泰 堀内 直英 土橋 一光 前田 宝 弘瀬 誠 濱田 さつき 牧野 恵美 深野 和代
中 小 対 策	中小対策委員会 ◎三輪 茂樹 ◇白倉 範人 小林 正博 植松 久雄 櫻井 澄人 中澤 孝之 田草川 厚彦 堀内 直英 高井 利樹
ジェンダー 平 等	ジェンダー平等 ◎大石 正哉 ◇深野 和代 ◆濱田 さつき 推進委員会 加藤 直樹 熊谷 千尋 野口 良朋 野中 広俊 望月 宏泰 牧野 恵美 女性委員会 ◎濱田 さつき ○牧野 恵美 ◇青柳 智恵子 小尾 ゆう子 熊谷 千尋 小池 衣里子 雨宮 まり子 土橋 和奈 常葉 亜希 ◆深野 和代
政 治 セ ン タ ー	政治センター ◎杉原 孝一 ○白倉 和也 ◇船渡 義昭 三輪 茂樹 松長 浩子 原 和之 来城 修 小川 直人 大石 正哉 宮下 竜三
連 帯・平 和	(委員会なし) ◇深野 和代
総 務 財 政	総務財政委員会 ◎杉原 孝一 ◇宮下 竜三 白倉 和也 三輪 茂樹 松長 浩子 原 和之 来城 修 小川 直人 大石 正哉 編集委員会(HP) ... ◎菅野 秀樹 ◇船渡 義昭 小林 正博 加藤 直樹 高井 利樹 ふれあい基金 ◎杉原 孝一 白倉 和也 原 和之 来城 修 小川 直人 ◇宮下 竜三 運営委員
地 域 協 議 会	中部地協 ◎桐原 智 ◇弘瀬 誠 東部地協 ◎河内 淳至 ◇前田 宝 西部地協 ◎矢巻 利之 ◇土橋 一光 専従役員と3地協との連絡会議を設置
産 業 別 連 絡 会	官公部門 自治労 日教組 全水道 国公総連 政労連 森林労連 金属部門 電機連合 JAM 自動車総連 基幹労連 交通・運輸部門 JP労組 運輸労連 JR総連 私鉄総連 JR連合 全自交 以下オブ参加 山交労組 富士急バス労組 山交甲府観光労組
ボランティアST	(委員会なし) ◇宮下 竜三 登録者：51名
退 職 連 合	退職連合 ◎遠藤 長男 ○渡辺 節子 ○小林 文徳 ○田辺 建男 ○浅沼 恵美子 ○坂本 義清 ○上野 一博 ○石原 茂雄 ○渡邊 忠男 ◇中澤 千尋 □丸山 久美 寺本 建夫 河西 正文 水石 晴彦 樋口 裕子 加々美 実 清水 清敏 早川 員男 窪田 澄男 橋本 富士雄 大木 勝藏 中込 寿之 古屋 博 □竹川 和彦 □味藤 哲雄 ◆船渡 義昭

※記号 ◎=委員会・部会委員長、フェアワーク推進センターはセンター長
 ○=委員会副委員長、フェアワーク推進センターは副センター長 ◇=事務局主幹 ◆=事務局副主幹 □=会計・会計監査

12
10
TUE

女性委員会 第35回定期総会を開催



12月10日(火) 連合山梨女性委員会第35回定期総会が開催されました。濱田委員長より、「世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数で、日本は146カ国中118位となり、先進7カ国では最下位。また山梨県は都道府県別ジェンダーギャップ指数も大変低い。このままでは、意欲も能力もある女性が都会へ流出してしまう。働く仲間として、力を合わせ、女性委員会を盛り上げていきましょう」と挨拶がありました。

総会議事では、2024年度活動報告、2025年度活動方針、新年度の役員が承認されました。

* 2025年度役員

(敬称略)

役職	氏名	産別名
委員長	濱田さつき	日教組
副委員長	牧野 恵美	電機連合
事務局長	青柳智恵子	自治労
委員	小尾ゆう子	J A M
	熊谷 千尋	J P 労組
	小池衣里子	電力総連
	雨宮まり子	情報労連
	土橋 和奈	運輸労連
	常葉 亜希	運輸労連

連合山梨女性委員会では、「連合山梨ジェンダー平等推進計画」フェーズ1からフェーズ2へと移行することを踏まえ、引き続き活動に取り組みます。ワーク・ライフ・バランスの実現、育児・介護休業法や女性活躍推進法の定着と前進、女性リーダーの育成を通じた運動の強化など積極的に進めていきます。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

* 退任役員

(敬称略)

役職	氏名	産別名
事務局長	戸島 裕子	自治労



女性委員会 委員長 濱田 さつき

山梨退職連合

12
6
FRI

第32回定期総会を開催



山梨退職連合は、12月6日(金)YCC県民文化ホールにおいて、第32回定期総会を開催しました。

主催者を代表しての挨拶で遠藤会長は「現在の日本の人口に占める65歳以上の割合は29%、2070年には39%に

達すると言われており、高齢化が深刻な問題となっている。本日提起する運動方針をもとに、安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて、構成組織の皆さまと連合山梨に結集する仲間の皆さまと連携し、政策提言、政治活動に積極的に取り組んでいく」と述べました。続いて、ご来賓として野田日本退職連合事務局長、窪田連合山梨会長をはじめ、6名の方よりご挨拶をいただきました。

議事では、2024年度の活動経過報告および決算報告の後、組織拡大の取り組みと政策・制度の取り組みの前進をめざした2025年度の運動方針や予算、および役員体制について提案があり、満場一致で承認されました。

副事務局長 船渡 義昭





関係団体より新年のごあいさつ



**謹んで新春のお祝詞を
申し上げます**

旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございました。
本年も倍旧のご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年 元旦
中央労働金庫
常務理事 坪井 茂
職員一同

中央ろうきん

謹賀新年

昨年とは格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。
本年もご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

令和7年 元旦

こくみん共済 coop (全労済) 山梨推進本部
本部長 萩原 雄二
事務局長 布能 真一
他 職員一同

公式キャラクターピットくん

連合山梨 ふれあい基金 給付・寄贈先一覧

2024年度の「給付金」は下記の通りです。

2023年9月1日～2024年8月31日

給付金		給付金		2024年度 給付金
死亡給付金 12名 (10,000/人)	120,000	障害1級 3名・2級 1名 (10,000/各級)	40,000	270,000
見舞給付金 21名 (5,000/人)	105,000	障害3級 1名 (5,000/級)	5,000	

連合山梨は「ふれあい基金」から、毎年社会福祉施設等に寄贈しています。第13回執行委員会で確認された2025年度寄贈先は下記の通りです。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

寄付	団体名	受贈先	受贈先
寄付	NHK歳末助け合い (海外)	福祉作業所つくしの家	社会福祉法人不二の里森福祉会
	NHK歳末助け合い (国内)	あさひ福祉作業所	東部授産園みとおし
	山梨県ともしび基金	社会福祉法人ぶどうの里	社会福祉法人アドバンス
	山梨県肢体不自由児協会 (愛のタオル)	芽生	NPO法人自立支援FIT
	山梨県手をつなぐ親の会	ひかりの家学園	コスモ・アンシアnobi-nobi
	福祉作業所たんぼぼの家	社会福祉法人ありんこ	
	ゆうき工房	富士桜作業所	

第96回メーデー・ポスター図案募集

締切り 2025年1月29日(水) 必着

入選 最優秀作品 1点(10万円)
優秀作品 2点(各3万円)

最優秀賞は第96回メーデーポスター図案に使用

応募方法

- 図案イメージ メーデー基本方針より
 - ①労働者の地位や労働条件の向上、人権(ジェンダー平等・多様性含む)・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求。
 - ②「働くことを軸とする安心社会」の継承・深化、社会的うねり呼び起こす運動。
 - ③NGO・NPOなど諸団体との連携、社会全体での支え合い、共生の推進。
 - ④被災地の復旧・復興支援への継続・強化など「誰一人取り残されることのない」社会の実現。
 - ⑤SDGs (持続可能な開発目標)の達成。
- 対象 対象：組合員、家族、OB・OG・退職者
- 応募作品
 - ①手書き、データともに可(応募は1人1点)。
 - ②手書きの場合はB4版・縦型の画用紙またはケント紙。
 - ③オリジナルかつ未発表で、知的財産権などを侵害しないもの。
 - ④生成AIによって作成した作品は対象外。
 - ⑤記載事項(手書きの場合は作品の裏面に、データの場合はメール本文に)
 - (1)氏名 (2)住所 (3)電話番号またはメールアドレス (4)所属労働組名
 - (5)構成組織名または地方連合会名 (6)組合員、家族、OB・OG・退職者の区分
- 宛先 第96回メーデー中央実行委員会(郵便・宅配便またはメール)

第96回メーデー中央実行委員会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合連帯活動局気付
TEL 03-5295-0513 E-mail: rentai@sv.rengo-net.or.jp

令和6年度 厚生労働省山梨労働局 年末年始無災害運動の実施について

非定常作業で発生しやすい災害

転倒災害 墜落災害 はさまれ・巻き込まれ災害 腰痛(無理な姿勢)

出典:厚生労働省 山梨労働局、甲府・都留・峡沢労働基準監督署「令和6年度 厚生労働省山梨労働局 年末年始無災害運動の実施について」